

2018年度 第1回 日本語教育研修会 実施報告

熊野七絵(国際交流基金関西国際センター)

1. 実施場所・日時

(1) 台北会場: 2018年7月7日(土)13:30~17:00

日本台湾交流協会台北事務所 B1 文化ホール(台北市慶城街28号)

(2) 高雄会場: 2018年7月8日(日)13:30~17:00

実践大学高雄校区高雄市教学中心 1102 電腦教室(高雄市苓雅区苓南路2号)

2. テーマ

「教室でeラーニング教材を活用しよう」

3. 概要紹介(事前の講師からのメッセージ)

日本語学習者を取り巻く環境は日々変化しています。ICTの発展により、学習者はPC、スマートフォン、タブレットなどを使って、インターネット上のさまざまな情報に自由にアクセスできるようになり、eラーニング教材もさまざまなものが登場しています。今回の研修会では、世界中の誰でも利用できる日本語学習のプラットフォーム「JFにほんごeラーニング みなと」と日本語オンラインコース、日本語学習サイトやアプリなどを紹介し、実際に触って体験してみるとともに、eラーニング教材を教室でどのように活用できるのか、グループで活用アイデアを交換したいと思います。

4. 具体的な内容

(1) 「JFにほんごeラーニング みなと」と日本語オンラインコース紹介、体験

世界中の誰でも利用できる日本語学習のプラットフォーム「JFにほんごeラーニング みなと」と「みなと」上で開講している各種日本語オンラインコース(「まるごと」、「ひらがな・カタカナ」、「アニメ・マンガの日本語」、「KCよむよむ」、「スピーチ」、「俳句入門」、「ビブリオバトル」など)の概要や特徴について紹介し、いくつかの自習コースを実際に触って体験しました。

(2) 日本語学習サイト&アプリ紹介、体験

「まるごと+」、「ひろがる もっといろいろな日本と日本語」、「アニメ・マンガの日本語」、「日本語学習ポータルサイト NIHONGO e な」などのWebサイト、「HIRAGANA/KATAKANA/KANJI Memory Hint」などのアプリを紹介し、実際に触って体験しました。また、紹介したeラーニング教材の工夫や特徴について確認しました。

(3) eラーニング教材の活用(グループワーク)

自学自習を前提としたeラーニング教材をどうやって教室で活用できるのか、海外の現場での実際の活用事例や、国際交流基金関西国際センターで実際に行った授業での活用例をいくつか紹介した後で、eラーニング教材の活用法を考えるグループワークを行い、発表しました。

5.所感

「eラーニング」についての研修会は、事後アンケートで「今の時代に必要なテーマ」、「教師にも学習者にも役立つeラーニング教材を紹介してもらえてよかった」、「教室でどのように活用できるかヒントを得られた」、などの声が挙がっていたように、時機に合ったものだったようです。

今回、研修会への期待として、教室での具体的な活用方法を知りたいという声が挙がっていたことから、なるべく具体的な活用事例を紹介するとともに、グループワークでアイデア、意見を交換する機会を設けました。各グループから、それぞれの対象者、現場、学習目標や内容に合わせてコースやサイト、アプリなどのeラーニング教材の活用法が示されましたが、反転的に事前学習として使う場合の教室での成果の確認方法、教室での発展練習の活動やプリントの準備、宿題としてグループで練習し、次回教室で発表するといった事後の活用方法など、「教室での活用」のために授業前後の学習デザインも含めた具体的なアイデアが多く出されたことが印象的でした。台湾の現場に合ったさまざまなアイデアを聞くことで、教室での活用イメージも膨らんだのではないのでしょうか。

学習者のICTリテラシーが高まり、ニーズも多様化する中で、教師もそれに合わせて最新技術を身に着けながら、最新情報を提供していくのは大変なことです。今回ご紹介したような日本語学習のための既存のeラーニング教材をその一助としてぜひ活用していただければと思います。